

お盆 8/7~15 棚経

★お盆、棚経参りは、古来より5、6分程の短いお経様です。短い時間ですが、家族揃って、お参りをお願い申し上げます。お参りの時間が近づいたら、ローソク線香をつけていただきますと、有り難いです。



☆交通事情 また、葬儀等で、時間が変更される場合があります。ご了承をお願い申し上げます。特に、13日は、たいへんお参りの数が多い日です。代理の和尚様が、お参りをさせていただく場合がございます。ご寛容のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

五重相伝開筵

平成二十三年十一月十一日(金) 入行 ~ 十五日(火) 満行

☆五重相伝を開筵いたします。多数の善男善女のお申し込みをお待ちいたします。

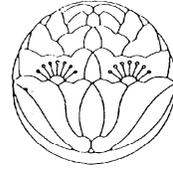


阿弥陀寺だより

平成23年 仏歴2554年

ただ一向に念仏すべし

お寺からのお知らせ(お施餓鬼・お盆会号)



浄土宗

白菊

★発行日・平成23年7月18日 ★第98号★発行・光照山 阿弥陀寺(Tel.0744-27-3278 Fax40-7600)



ペット供養塔お地藏さん

星とたんぽぽ  
青いお空のそこふかく、海の小石のそのように夜がくるまでしずんでる、昼のお星はめにみえぬ。見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものもあるんだよ。ちつとすがれたたんぽぽの、かわらのすきに、だアまって、春のくるまでかくれてる、つよいその根はめにみえぬ。見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものもあるんだよ。金子みすゞ、26歳の若さでの世を去った童謡詩人

◇ お盆経木塔婆受付中 ◇

- お盆経木塔婆は、別紙申し込みはがきで、お申し込みください。
- ①お盆の迎え火の時、お盆経木塔婆(ご先祖様精霊)をお寺までお迎えください。
- ②お盆中、ご自宅の精霊棚におまつりし、ご供養ください。
- ③お盆が、終わりましたらお盆経木塔婆は、お寺にお持ちいただきましたら、送り火といたしましてご供養をさせていただきます。

☆お申し込みは、準備の都合上、同封のはがき「お盆経木塔婆申込書」に名等、ご記入の上、お早めにお申し込み下さい。※FAXでも受け付け。 ※一軒分 三〇〇〇円

※お施餓鬼法要の塔婆とは、別です。お施餓鬼塔婆、毎年 8月1日の大法要でたくさん僧侶上人とご回向させていただく大変功德のあるお塔婆。お施餓鬼塔婆申し込みはがきで、7月30日までに到着するように別途お申し込みください。1日のお施餓鬼法要でご回向させていただきます。ご不明な点ございましたら、お寺まで お電話ください。

Tel.0744-27-3278 FAX0744-40-7600 合掌



大施餓鬼法要は、8月1日(月)お勤めいたします。 ※詳しくは、本文 日程表をご覧ください

○境内新区画墓地受付中

新区画 墓地が完成しました

○ペットの供養塔随時受付中 詳しくは、電話 又は WEBで 光照山 阿弥陀寺検索

○納骨堂 ☆納骨は、随時受け付けています。詳しくは TEL0744-27-3278 に、http://kamidaji.com

浄土観の復活

東日本大震災で、日本人は一万数千人の死を共有した。大正二年の関東大震災以来という未曾有の自然災害だ。各地で、死者、一部の行方不明者の追悼の儀式が行われている。横断横死の人々に対し、一心に祈っている姿がマスコミでも紹介されている。この悲惨な災害が、日本人の死生観、他界観に決定的な変化をもたらすのではないかと考える。だからとしたら日常の中で、「生きていくこと」が重要で、死は棚上げにして考えない」という日本人の風潮が変わる。延々と続くがれきのなかで、数多くの死を目の前に突きつけられ、死を常に考え、死とは何か、死とともに生きることを考え始めた。法然上人の時代も、戦乱に明け暮れ災害も頻発した。死が身近にあった時代だ。京都・祇園川のほとりに、死体が散乱していたという。そんな死が横溢していた時代に、上人は南無阿弥陀仏と申すすべての人の浄土往生を説いた。法然上人はこう記した。「人が死ぬときのことなど、日ごろの考え通りにいくものではありません。往來で突然倒れて死んでしまうこともあれば、お手洗いで用を足している最中に死んでしまうこともあります。これまでの行いに端を発して、刀などで切られて命を失うこともあれば、火事のために、あるいは水におぼれて命を失うことも多くあります。しかし、たとえ、そういう死に方をしても、日ごろからお念仏となえ、極楽へ往生したいという心さえて持っている人ならば、今まさに息が絶えようとしているそのときに、阿弥陀さまは観音菩薩や勢至菩薩ともにお迎えに来てくださると信じ、思い定めるべきです。」(往生浄土用心) ▼震災に逝った多くの人の死。合掌。その死に向き合って、日本人の心の中に死後の安寧を求める思いが胚胎し始めたのだ。往生を求める浄土観の復活の始まりだと思ふ。

明るく・正しく・仲よく

### おせがき すべての人を救う仏様の慈悲 お盆

お施餓鬼、お盆の季節を迎え、こころ新たにご先祖さま、ご縁のある御霊に供養の真心を捧げたいと思います。亡き、御霊が馬に乗って還られるこの季節。私たちに命の尊さと、今生かされている喜びを感じさせてくれます。今年も早いもので、もう折り返しを過ぎました。一日一日、一瞬一瞬を生きる私たちにとってこの季節の移り変わりは例えようが無いほど速いもので、そうした中、私たちは出会いを繰り返しながら道を求め、時には迷いながら、歩んでいるように思えます。「思えば、今年の今月今日は一緒に過ごしていたのに……、いまは、蓮の臺より慈悲の光で私たちに照らしていただいております。いつもいつもそのみ光は灌がれているのに、お盆だけは特別に強く感じるような気が致します。時が移り変わってもこの頃になりますと、亡き御霊への想いが自然と湧き上がってまいります。昨年の本月本日にはご一緒に過ごしていた家族や友人が、今日は私たちが拝むそのさきにいらっしゃる。「諸行無常」という言葉を、あらためてかみしめ、生かされていることの尊さを感じます。



#### ★おせがきの日程・・・

随 時 一般塔婆申込み受付

12:00	昼 食
1:00	開 白
1:15	法 話
2:30	休 憩

☆ 2:40 おつとめ塔婆本回向

戦没英霊追悼会 永代祠堂回向

4:30 終了

#### おつとめ

施餓鬼法要 戦没者追悼会  
永代祠堂回向 塔婆回向

さて、皆様のお手元に阿弥陀寺の寺報「白菊」お施餓鬼。お盆号が届く頃には、梅雨もあけて、暑い夏空の頃になっていることと思われまます。

檀信徒皆様方におかれましては、日々、ご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は、お寺のことに、ご理解、お力添えを頂き厚くお礼申し上げます。お陰様で当山もその任にと日々、精進させていただいております。今後ともよろしく願い申し上げます。

今年もお施餓鬼法要、並びにお盆のご案内をさせていただきます。お誘い合わせの上、皆様方のご参詣をお待ち申し上げます。

## 大施餓鬼法要は、8月1日(月)厳修、お勤めいたします

☆ お施餓鬼の法話 お施餓鬼の法話は、筑前琵琶の人岡国室、故山崎旭峯総範に師事し、琵琶説教師として、ご活躍の金森昭憲上人です。お楽しみに……。



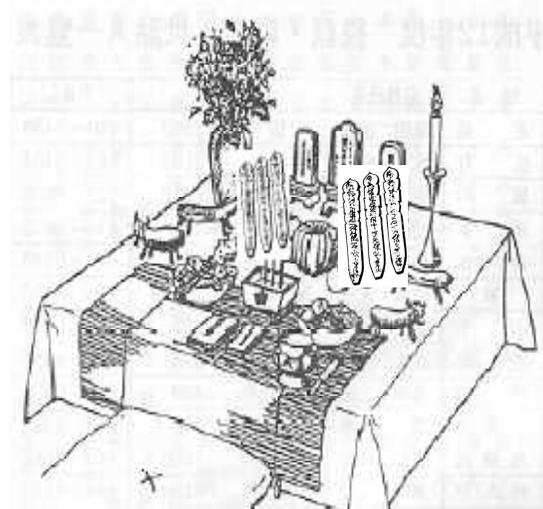
★法話の時間は、午後一時過ぎより 一時間の予定です。

### お盆ですよ～ おせがきですよ～

あの人、この人、みんながそろってお盆。

お仏壇は、お家の中のお浄土ですよ。いつもきれいにしておきましょう。(花、燈明、お供え物、水、茶、仏飯等) …

そして、みんなで、仏様へのごあいさつも忘れずに。



お盆とはね、昔、目蓮尊者新というお坊さんが、亡くなった自分のお母さんを救うために始めた供養がもとになっていくんだよ。目蓮尊者はある日お母さんが亡くなってから飢えと渇きに苦しむ世界(餓鬼道)に落ちていくのを知ったんだ。それでお母さんを助けるためにどうしたらいいか、お釈迦様に尋ねたんだ。お釈迦様は「夏安居のお坊さんたちの修業がすんだら、食べ物などを供養して、お勤めしてもらいなさい。そうすればお母さんや他の人達も餓鬼道から救われますよ。」と教えてくださったんだよ。それをもとに始まったのが、「お盆」正しくは、「盂蘭盆会」というのだよ。

お盆精霊だなのおまつりの一例です お仏壇の前におまつり下さい

「施餓鬼会」は、お盆とは別に阿難尊者というお坊さんに、一人の餓鬼が現れ「あなたの命はあと三日で、もつと長生きしたければ我々を救ってください。」と言いかたを消した。阿難はお釈迦様にその方法を尋ねた。それが「施餓鬼会」という法要なんだよ。餓鬼を救うという共通点から同時に勤められることがあり、その場合「盂蘭盆施餓鬼会」と呼ぶんだよ。

・「お盆」は「お盆」  
・何をかたむけるのか  
・何をかたむけるのか  
・何をかたむけるのか



お盆のお供え物については「盂蘭盆経」というお経の中に、いろいろな種類の食べ物、五種の果物、香りのよい油、お燈明などを供養するとあります。浄土宗では山の物、野の物、海の物、の物をそれぞれお供えすればよいでしょう。馬や牛をキュウリやナスビで型どって、馬で早く家に帰ってきてほしい、帰りは牛でゆっくりと極楽浄土へもどってほしいという気持ちを表します。

